

学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成28年 4月 2号

一学期の始業式を行い、入学式を行うのが本校の入学式の日々の日程です。本年度は、田口小学校の歴史に寄り添いつつ、子どもたちにもその姿を知らせることが出来たらと思っております。校長講話のテーマにしたいと考えます。先日、4月19日には、3年生が城山に登り、(蕃松院から登り、急ですが30分ほどで登れます。)田口小学校 五稜郭龍岡城をその目で直にその五角形の姿を見てきました。そんな取り組みをどの学年でも一つでも二つでもいいので行うようにしたいと考えています。

<一学期始業式の講話から>

今年は 五稜郭が完成して149年目です

新しい学期が始まりました。3月まで一年生だった皆さんは、2年生になりました。それぞれの学年が一つずつ進級しました。大きく成長したということを示しています。おめでとうございます。

先ほど、4名の転入生を紹介しました。新しい仲間です。その皆さんを含めて、257名で平成28年度がスタートします。よろしくお願いいたします。

さて、今年は、私たちの田口小学校が建っている五稜郭 龍岡城が出来て、149年目の年です。つまり、来年は150年目という事になります。

私たちの五稜郭を空からみると このように見えます。(写真を示す) どうですか。きれいでしょ。高学年の皆さんはわかりますね。きれいな五角形です。五角形のお城は日本には2つしかありません。

そして、このお城を建てた方が、松平 乗謨(まつだいら のりかた)(大給 恒おぎゅう ゆずる)さんと言います。お殿様です。これがその大給さんの写真です。どうでしょうか。私達がこれから毎日過ごす五稜郭 龍岡城を作った人です。このように私たちの田口小学校はとても古い歴史のある場所に立っているということがわかるでしょう。

もうじき、土手の桜の花が開きます。地域の皆さんをはじめ、遠くから桜を見に大勢の人々が訪れます。私たちの学校のある五稜郭龍岡城は、現在もいろいろなことでとても人々に知られている場所でもあります。

昔からここに住んできた人たちの思いを受け継いで行かなければなりません。特に、大給さんは、日本赤十字を立ち上げる事に力を尽くした人でもあります。だれにでもやさしくするという事を真剣に考えその実現に努力した人です。どうか、その思いをしっかりと受け止め、毎日毎日、様々なことに全力で取り組み、すばらしい人に近づける一年にしましょう。

この一年間、出来る限りの力を発揮し、一人一人にとって 忘れることの出来ないステキな思い出でいっぱい的一年にしましょう。



本年度の大きな行事 奥殿小学校との交流



奥殿小学校との交流は、少し前より3年に一度ずつ行き来するという形態に変わりました。そして、前回3年前は、田口小学校の児童が奥殿小へ訪問させていただきました。今回は、奥殿小学校よりこの佐久の田口にお見えいただく番となります。お見えいただく日時は、すでに決定しています。8月26日(金)27日(土)の両日です。PTAはもとより、地域の皆様方にも知っていただくとともに、田口に住む様々な皆様方に関わっていただければと考えます。本年1月には、平成28年度PTA会長さんや平成27年度のPTA会長さん共々奥殿小へお邪魔し、ご挨拶を兼ね訪問に関する大まかな概要について

打ち合わせをさせていただきました。訪問を通し実感として感じたことは、大給恒さんとの関わりでつながっている二つの地域があること、また現在もそれぞれに貴重なその歴史事実の上に学校・地域が存続しているということでした。このことは、何ものにも「変え難い」ことに思えました。8月を楽しみにしつつ準備をして参ります。PTAの皆様はもとより地域の皆様にも、様々なことをご協力をお願い申し上げることと思います。よろしくお願いたします。

奥殿小は、田口と似た様子の地勢をしているように思いました。しかし、大きな山々が近くに迫るといった様子はありません。かといって平坦な場所に位置しているわけではありませんでした。山々に囲まれた場所に作られている「陣屋」(当時の役所あと 主には税金としてのお米を納めた場所)は、敵の襲撃に備える意味も含め、配慮されて守り易い場所につくられたように思いました。当時の石高で、2000石のお米が集まったようです。一方、田野口(田口)藩は、最大の時には、14000石のお米が集まったとされています。納税量からいけば、断然田口の方が多かったということになります。乗謨さんが本拠地を移す際には、奥殿では大反対運動が起きたと記録されています。



児童の様子。4月始めの

子どもたちの様子を示す一つの数字として、欠席人数があります。これまでの欠席の人数は、一日あたり8名～10名でした。これは決して少ない数字ではありません。体調を崩した児童が多くいたことを示しています。先生方にも不調をきたした方が多く出てしまい、校内で遣り繰りをしつつここまで来ました。今週末からゴールデンウィークに入ります。本校はカレンダー通りの休日ですが、体調の回復に努めつつ楽しい日々を過ごしていただくと有り難いと思います。また、安全に注意した生活を願います。

家庭訪問有り難うございました

お忙しい中、様々に差し繰っていただきました。有り難うございます。本当に短い時間ではあるのですが、中々



先生方が保護者の方と身近にまた個別にお話をする機会は限られています。貴重な機会だと思います。もちろんこの短い時間で子どもたちの本質的な良さが共有され、課題に対しての対応の具体が見いだせるなどということは難しいかと思えます。しかし、子どもたちにとっては、先生も保護者も「大事な味方」でなくてはならないと考えます。自分の事を大事に考えてくれる人であるからこそ、支援や指導が心に届き、通じその子がよりよく変容する事につながるのではないのでしょうか。是非、家庭訪問をきっかけにいただき、その都度子どもたちのため

と一緒に考え支える関係でありたいと思います。「共々」に育てるという意味の一つだと思っております。

観光に来られた方から：「お城の中に学校があるんですね」「子どもたちは、恵まれていますね」「学校はやっていないんですか。余りに静かなもので、もうやっていないのかと思って・・・」今年もたくさんの皆さんが、桜を愛でていただきに本校を訪ねてくださいました。見知らぬ人が立ち入ることが出来るということは、危険な状況も起こりうる可能性があるということです。でも、たくさんの方が来られるということは、たくさんの方の目で監視されているということでもあると思います。街中の雑踏とは、訳が違うと思います。このようにたくさんの方から親しまれ、心を寄せられる場所にあると言うことは、素晴らしい環境であると思います。「私は、この田口の出身なんです。懐かしいです。今は、神奈川に住んでいるのですが、いやー本当に懐かしい。」とおっしゃる方が先日お見えでした。ふるさとは誰の心にも思いを残す場所ですね。保存会の会長様から、「申し訳ないですね。たくさん観光客の学校にきてしまって。すみません。」という言葉いただきました。安全には十分に配慮して参りますし、その必要は十分に職員全体で理解し取り組んで参ります。それにしても、いろいろな人にいろいろな所から心配や配慮していただいていることがわかります。有り難いです。